

# WAP571またはWAP571Eアクセスポイントでのポリシーマップの設定

## 目的

ポリシーマップは、クラスマップで条件が一致したときにアクションを実行します。クラスマップには、トラフィックを転送またはドロップするために一致させる必要がある条件が含まれます。ポリシーマップには、1つのクラスマップを一致させることのできる多数のクラスマップが存在するか、ポリシーマップで指定されたアクションに対してすべてのクラスマップを一致させる必要があります。アクセスポイントのQuality of Service(QoS)設定を完了するために、クラスマップとポリシーマップが作成されます。QoSの設定方法については、[ここをクリックしてください](#)。クラスマップの作成方法については、[ここをクリックしてください](#)。

この記事では、ワイヤレスアクセスポイントでポリシーマップを作成する方法を説明します。

注：クラスマップがない場合、ポリシーマップを作成できません。

## 該当するデバイス

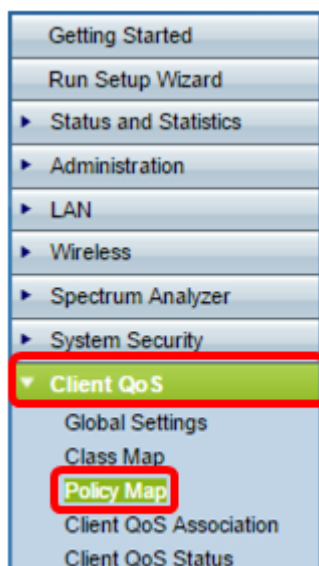
- WAP571
- WAP571E

## [Software Version]

- 1.0.0.17

## ポリシーマップの追加と設定

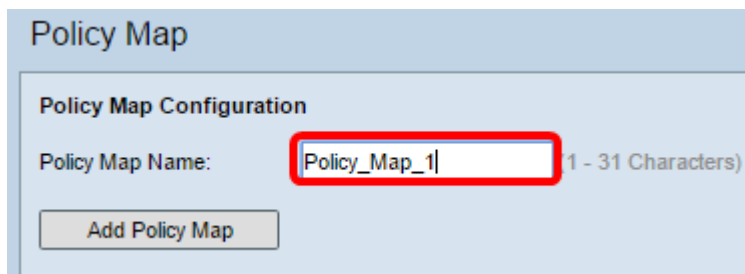
ステップ1：アクセスポイントのWebベースのユーティリティにログインし、[Client QoS] > [Policy Map]を選択します。



注：まだ設定済みのポリシーマップがない場合は、[ポリシーマップの設定(Policy Map Configuration)]領域だけが表示されます。

ステップ2:[Policy Map Name]フィールドに、作成する必要があるポリシーマップの名前を入力します。名前には、1～31文字の英数字と特殊文字を使用でき、スペースは使用できません。

注：この例では、名前はPolicy\_Map\_1です。

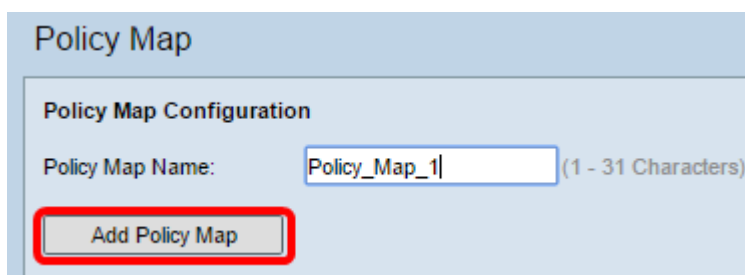


Policy Map

Policy Map Configuration

Policy Map Name:  (1 - 31 Characters)

ステップ3:[Add Policy Map]をクリックします。



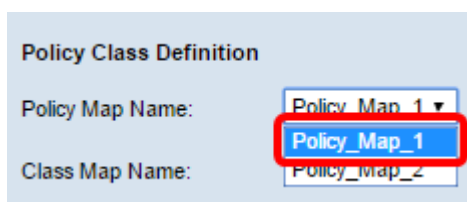
Policy Map

Policy Map Configuration

Policy Map Name:  (1 - 31 Characters)

ステップ4:[Policy Class Definition]領域で、[Policy Map Name]ドロップダウンメニューから、設定する必要があるポリシーマップを選択します。

注：この例では、Policy\_Map\_1が選択されています。



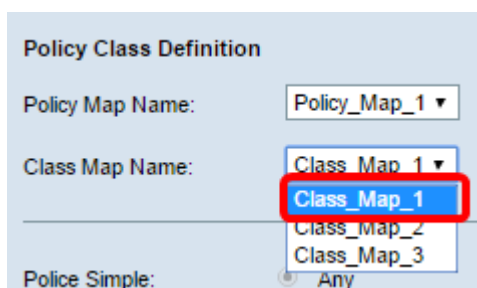
Policy Class Definition

Policy Map Name:  ▼

Class Map Name:

ステップ5:[Class Map Name]ドロップダウンメニューから、ポリシーマップに適用するクラスマップを選択します。

注：この例では、Class\_Map\_1が選択されています。



Policy Class Definition

Policy Map Name:  ▼

Class Map Name:  ▼

Police Simple:  Any

ステップ6:[Police Simple]オプションボタンをクリックします。この機能は、クラスのトラフィックポリシングスタイルを確立します。ポリシングスタイルの単純な形式では、単一のデータレートとバーストサイズが使用され、結果として2つの結果が得られます。

conformおよびnonconform。次のオプションがあります。

- Any : トラフィックが準拠する必要があるパラメータは設定されません。これがデフォルト設定です。
- [Committed Rate] : このオプションを使用すると、トラフィックが準拠する必要がある認定レート(Kbps)、および認定バースト (バイト) を指定できます。認定レートは1 ~ 1000000 Kbpsです。Committed Burst ( BC ; 認定バースト ) は1 ~ 204800000バイトです。

注 : この例では、[Any]が選択されています。

Police Simple:  Any

Committed Rate:  (1 - 1000000 Kbps)

Committed Burst:  (1 - 204800000 Bytes)

Policy Match Attribute:  Send

Drop

Mark Class Of Service:  (Range: 0 - 7)

Mark IP DSCP:

Mark IP Precedence:  (Range: 0 - 7)

Disassociate Class Map:

ステップ7:[Police Simple]設定に基づいて、[Policy Match Attribute]の設定を選択します。次のオプションがあります。

- [送信(Send)] : クラスマップの基準が満たされている場合、関連するトラフィックストリームのすべてのパケットが転送されるように指定します。
- [Drop] : このオプションは、クラスマップの基準が満たされている場合に、関連するトラフィックストリームのすべてのパケットが廃棄されるように指定します。
- Mark Class Of Service : このオプションは、関連するトラフィックストリームのすべてのパケットを、802.1pヘッダーのプライオリティフィールドの指定されたサービスクラス(CoS)値でマークします。パケットにこのヘッダーがまだ含まれていない場合は、1つが挿入されます。CoS値は0 ~ 7の整数である必要があります。
- Mark IP DSCP : このオプションは、関連するトラフィックストリームのすべてのパケットに、リストから選択したIP DSCP値をマークします。
- Mark IP precedence : このオプションは、関連付けられたトラフィックストリームのすべてのパケットを、指定されたIP precedence値でマークします。IP precedenceの値は、0 ~ 7の整数です。

注 : この例では、[Drop]が選択されています。つまり、この設定で示されているように、Class\_Map\_1で指定された条件に一致するパケットは廃棄されます。

Police Simple:  Any

Committed Rate:  (1 - 1000000 Kbps)

Committed Burst:  (1 - 204800000 Bytes)

Policy Match Attribute:  Send

Drop

Mark Class Of Service:  (Range: 0 - 7)

Mark IP DSCP:

Mark IP Precedence:  (Range: 0 - 7)

Disassociate Class Map:

ステップ8: ( オプション ) [クラスマップの関連付けを解除(Disassociate Class Map)]**チェックボックスをオン**にして、[ポリシーマップ名(Policy Map Name)]リストで選択したポリシーから[クラスマップ名(Class Map Name)]リストで選択したクラスを削除します。

Policy Match Attribute:  Send

Drop

Mark Class Of Service:  (Range: 0 - 7)

Mark IP DSCP:

Mark IP Precedence:  (Range: 0 - 7)

Disassociate Class Map:

---

Member Classes:

Delete Policy Map:

注 : [Member Classarea]には、選択したポリシーに現在関連付けられているすべての DiffServクラスが表示されます。現在関連付けられているクラスがない場合、エリアは空白です。

ステップ9: ( オプション ) 現在のポリシーを削除するには、[ポリシーマップの削除]**チェックボックスをオン**にします。

Member Classes:

Delete Policy Map:

ステップ10:[**Save**]をクリックして、スタートアップコンフィギュレーションの変更を保存します。

Member Classes:

Delete Policy Map:

Save

これで、ワイヤレスアクセスポイント(WAP)のポリシーマップが正常に設定されました。